



『Shima Fes (合唱祭)』

本校には『Shima Fes』という行事があります。体育大会が体育的行事であるのに対して、『Shima Fes』は文化的行事として位置付けてあります。コロナ前は合唱祭として取り組んでいましたが、コロナが流行した数年間は、声を出さずに、体を使って音を出すリズムアンサンブルを行っていました（昨年度は、合唱とリズムアンサンブルの選択制）。

今年度は、コロナ前のようにすべての学級が合唱に取り組みました。音の強弱や重なりを意識した美しい歌声と、それを創り上げるまでの学級の歩みが見事に表現された、本当に素晴らしい行事になりました。

コロナ禍の中で様々な学校生活が制限された後、全国の多くの学校で行事が縮小あるいは廃止されています。私も、以前から何となく踏襲されてきているもので、生徒の成長にあまり意味をなさないものはなくしていけばよいと思います。

しかし、体育大会や『Shima Fes (合唱祭)』のような、生徒が仲間と共に創り上げる過程で、知恵やアイデアを出し合いながら困難を乗り越え、大きな感動を味わうことができる行事は絶対になくしてはいけないと思っています。

今後も、教職員の業務や学校行事の見直しが進んでいくかと思いますが、子どもに軸足を置いて精選していきます。よろしくお願いします。

校長 坂井 祐一郎

【各学級の曲名】

- 1-1 『明日へ』
- 1-2 『明日へ』
- 1-3 『あさがお』
- 1-4 『怪獣のパラード』
- 1-5 『涙をこえて』
- 1-6 『マイパラード』
- 2-1 『輝くために』
- 2-2 『この地球のどこかで』
- 2-3 『心の瞳』
- 2-4 『心の瞳』
- 2-5 『旅立ちの時～Asian dream song～』
- 2-6 『輝くために』
- 3-1 『YELL』
- 3-2 『手紙～拝啓十五の君へ～』
- 3-3 『Replay』
- 3-4 『虹』
- 3-5 『手紙～拝啓十五の君へ～』
- 3-6 『YELL』



【『Shima Fes』後の生徒の感想（一部抜粋）】

はじめの頃は、音を外したり、全体で見てもバラバラだったりした。少しずつできるようにはなってきたけど、1週間前に●組の合唱を聴いて圧倒された。そこから1週間は、みんなで練習して最後まで歌うことができた。3人で歌うところは、プレッシャーがあったし声量が足りるかわからなかったけど、3人で互いを信じて声を出したら響くようになった。はじめは声量が全体的に足りなかったけど、本番の合唱や、「■組のみなさん、準備をお願いします」に対する返事のところからも、**クラスを信じて全員が声を出せた。終わった後も、もう1回歌いたかったし、達成感がすごかった。**

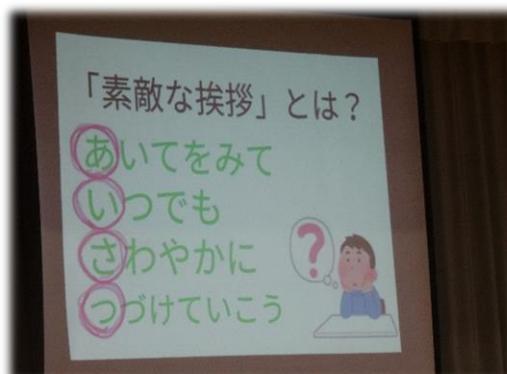
☆☆☆島中News☆☆☆

【11/1（金）生徒総会】

後期の生徒会役員が中心となって企画し、体育館で生徒総会が行われました。参加した生徒は活動について知り、学校生活を自分たちで創り上げようとする願いをもつことができました。

生徒総会は、執行部による後期の方針とねらいの提案から始まり、Shima Fes（合唱交流会）やピンクシャツデー、3年生と語る会、継承向上の会等、今後の行事の見通しの説明へと続きました。いじめを許さない活動については、実演（劇）を交えた演出を行うことで、全ての生徒を引き込もうとする思いがよく伝わってきました。

その後、専門委員長や学習長から活動計画が提案され、質疑・応答の後承認されました。堂々と質問する姿や丁寧に応答する姿がとても印象的でした。



【11/16（土）キャリアスクール】

岐阜市が進める「ぎふ MIRAI's」の学習として、地域の教育力を生かし、様々な職業について理解するとともに、働く人たちの生き方を学ぶことを通して、自分の将来について考え、主体的に自分の生き方を見つめる生徒を育てるというねらいのもとキャリアスクールを開催しました。

講師の皆さまからは、貴重な経験をもとに仕事に対する思いや人としての生き方についてお話をいただいたり、その職種ならではの体験活動をさせていただいたりしました。講座に参加した生徒は、講師の皆さまの言葉をしっかりと聞き、真剣に参加することができました。それにより、職業への理解を深め、人としての生き方について考えることができました。

